

MTX-70P-161,L

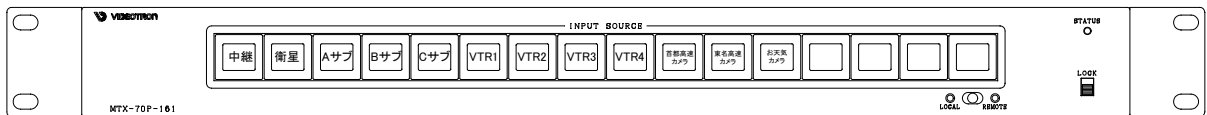
MTX-70P-161 は MTX-70-164、MTX-70-168 と組み合わせて使用するマトリックススイッチャー操作パネルです。特定の出力チャンネルに対して入力素材を素早く確認したい場合に有用で、モニターセレクトパネルとしてご活用いただけます。

キートップに最大 8 文字の漢字表示が可能な MTX-70P-161 と、コストを抑えた MTX-70P-161L を取り揃えております。MTX-70P-164、MTX-70P-168 の操作パネルと混在可能で、最大 8 台まで接続することができます。

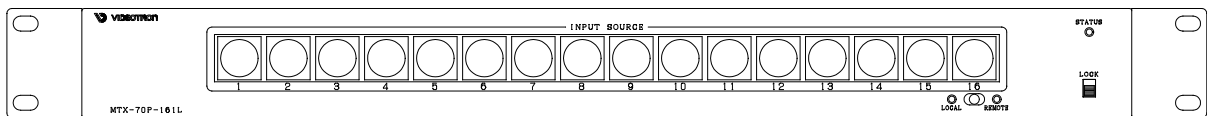
■特長

- ✓ パネルのキートップに漢字で最大 8 文字の表示が可能 ※1、※3
- ✓ パネルのキートップのデザインはユーザーで任意にカスタマイズ可能 ※2、※3
- ✓ 入力のチャンネル毎にバックライトの発光色を指定することが可能、※3
- ✓ キートップのデザイン／発光色は専用のツールで MTX-70 本体に記録するので、パネルの増設も簡単 ※3
- ✓ 一台の MTX-70 本体に対して、MTX-70P-161,L を最大 8 台までカスケード接続可能 ※4
- ✓ カスケード接続時に中間のパネルの電源が切れても、その他のパネルは操作可能(エマージェンシーバイパス機能)
- ✓ 操作対象のチャンネルは本体背面のスイッチで切り換え可能
- ✓ リモート／ローカルの設定が可能
- ✓ パネル全体の操作を禁止する LOCK スイッチを搭載

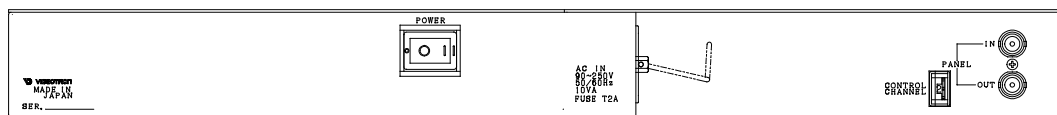
※1 漢字8文字表示は2行で表示します。 ※2 MTX-70本体に付属のCDROMに含まれるアプリケーション「ボタンエディット」を使用します。PCとVbus-70B、Vbus-70C筐体をネットワークで接続し、MTX-70本体に設定を登録します。 ※3 MTX-70P-161のみ対応 ※4 MTX-70本体とは、MTX-70-164、MTX-70-168を指します。MTX-70-84、MTX-70-88と接続した場合でも操作は可能ですが、入力ソース9～16を選択した時、映像が出力されません。



MTX-70P-161正面



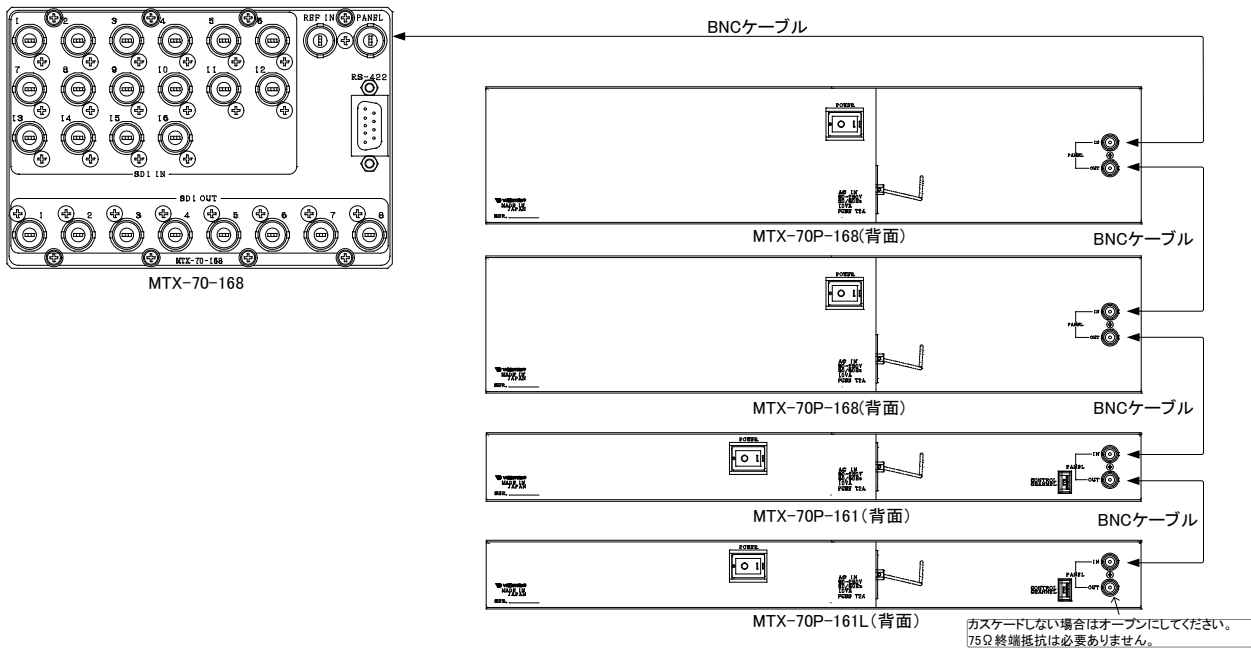
MTX-70P-161L正面



MTX-70P-161,L背面

接続図

MTX-70-168 と、MTX-70P-168、MTX-70P-161、MTX-70P-161L を組み合わせた場合の接続図です。

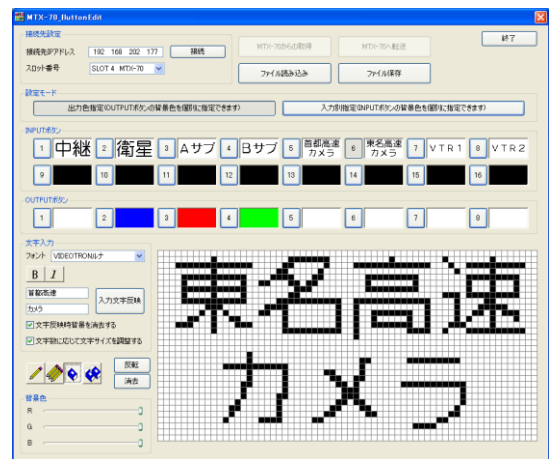


ボタンエディット

MTX-70 本体をご購入いただくと、付属の CDROM にアプリケーションソフト「ボタンエディット」が付いております。「ボタンエディット」を使用すると、MTX-70P-161 に任意の文字を表示させることができます。文字の登録は「ボタンエディット」をインストールした PC と MTX-70 本体を実装した Vbus-70B、Vbus-70C 筐体をネットワーク接続して行います。エディットしたデータは MTX-70 本体に保存されますので、電源を入れる度にデータを転送する必要はありません。データを保存した MTX-70 本体と MTX-70P-161 を BNC ケーブルで接続すると、自動的に MTX-70P-161 に文字情報が転送されます。MTX-70P-161 を増設する際も、セットアップの必要は無いので簡単です。エディットしたデータを PC のハードディスクにバックアップすることもできます。また、バックライトの発光色を、入力チャンネル毎、あるいは出力チャンネル毎に指定することができます。「ボタンエディット」は Windows アプリケーションです。フォントは、Windows OS にインストールされたトゥルータイプフォントがご使用頂けます。




【ボタンの表示例】



【ボタンエディット】

機能

制御対象出力チャンネル設定	制御対象とする出力チャンネルの選択は、操作パネル背面のサムロータリースイッチで行います。	 1～8の数字を選択
入力ソース選択	入力ソースの選択は 16 個のボタンでダイレクトに行います。MTX-70P-161 は選択している入力ソースに対応したボタンのバックライトが強く発光します。MTX-70P-161L では選択している入力ソースに対応したボタンが緑色に発光します。	
REMOTELOCAL切り換え	制御対象の出力チャンネルに対してリモート／ローカルの設定ができます。スイッチの操作で、下記の四通りの設定が可能です。 <ol style="list-style-type: none"> 1. REMOTE ONLOCAL OFF リモート制御のみで手動制御は不可です。 2. REMOTE OFFLOCAL ON 手動制御のみで、RS-422 によるリモート制御は禁止します。 3. REMOTE ONLOCAL ON リモート制御、手動制御ともに有効です。 4. REMOTE OFFLOCAL OFF リモート制御、手動制御ともに禁止です。変更禁止設定です。これらの設定は、カスケードしている操作パネル全てに連動します。 	
STATUSランプ	MTX-70 本体と接続して、操作可能状態の時緑色に点灯します。操作不能の時、橙色点滅します。	
LOCKスイッチ	MTX-70P-161,L の操作を禁止にします。カスケードしている、その他の操作パネルには連動しません。	
文字表示設定	デフォルトで入力ソースボタンに 1～16 の数字が表示されますので、工場出荷状態でもご使用頂けます。ボタンエディットでスイッチの表示をカスタマイズすることで操作性が向上します。漢字は 2 行表示で最大 8 文字。英数半角では、16～18 文字程度まで表示可能です。 ※MTX-70P-161 のみ	
ボタン発光色設定	ボタンエディットを使用してカスタマイズできます。 ※MTX-70P-161 のみ	
入力INHIBIT設定	指定した入力ソースボタンの操作を抑制できます。誤って他系統の入力を選択するのを防ぎます。設定はパネル単体に保持され、カスケードしている他のパネルには連動しません。	
カスケード機能	一台の MTX-70 本体に対して、MTX-70P-161,L を最大 8 台までカスケード接続できます。操作は全て連動します。各 MTX-70P-161,L 間の接続は、3C2V のケーブルで 100M まで伸ばすことができます。	
エマージェンシーバイパス機能	カスケード接続の際、中間の MTX-70P-161,L の電源が切れても、エマージェンシーバイパス機能が働き、後段の MTX-70P-161,L の制御は可能です。	

構成

MTX-70-164(別売)	16×4マトリックススイッチャー
MTX-70-168(別売)	16×8マトリックススイッチャー
MTX-70P-164(オプション)	16×4対応マトリックススイッチャーパネル
MTX-70P-168(オプション)	16×8対応マトリックススイッチャーパネル
MTX-70P-161	16×1モニターセレクトパネル 漢字表示機能付き
MTX-70P-161L	16×1モニターセレクトパネル ローコスト版 漢字表示機能無し
GPI-70B(オプション)	GPIインターフェイス 16パターンのプリセットを16本の接点で切り替え
USB-422(オプション)	USB⇄RS-422変換機 PCでRS-422制御する時使用

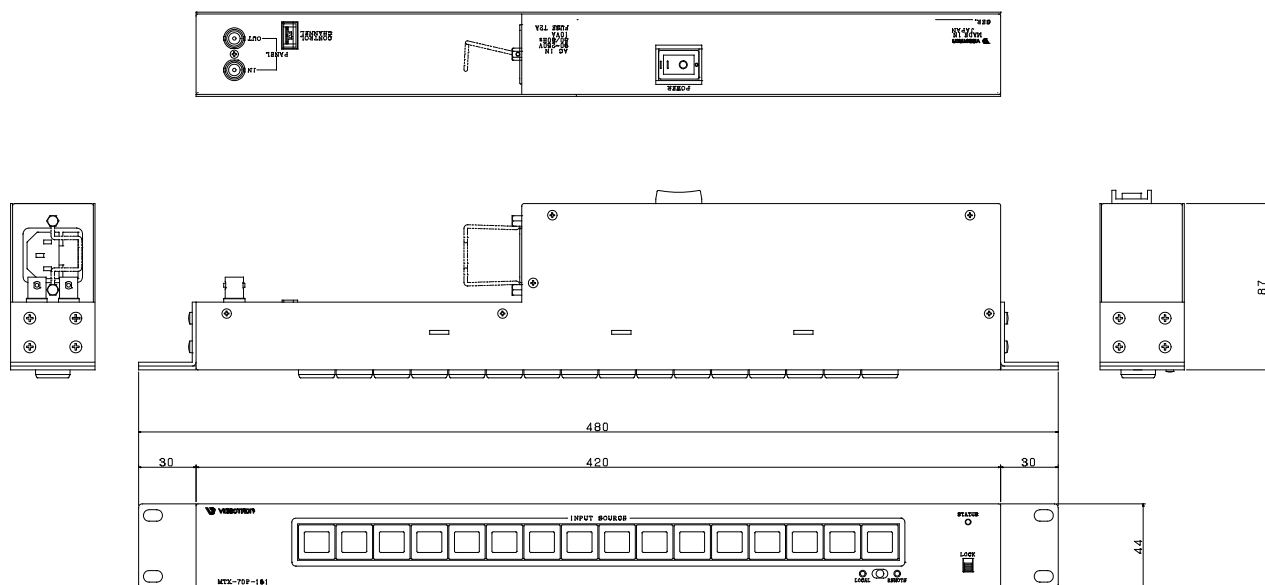
定格

外部 I/F	
・ PANEL IN	2Vp-p/75Ω、BNC 1系統
・ PANEL OUT	2Vp-p/75Ω、BNC 1系統
動作温度	0~40°C
動作湿度	20~80%RH(ただし結露なき事)
電源	AC100~240V±10%、50/60Hz
消費電力	10VA
質量	1.3kg
外形寸法	420(W)×44(H)×87(D)mm(突起物含まず)

性能

外部 I/F	
・ PANEL IN	100m/3C2V
・ PANEL OUT	100m/3C2V
	※エマージェンシーバイパス機能は機械リレーを使用している関係で、連続して複数のパネルの電源が同時に切れた場合の動作保障は致しかねます。
最大カスケード接続台数	8台

外形図



※MTX-70P-161Lの外形寸法はMTX-70P-161と同じです。